

## PC-MT1-L1/PC-MT1-P1仕様

CPU	インテル® SpeedStep™テクノロジー対応 超低電圧版モバイルPentium® プロセッサ500MHz <sup>1</sup>
キャッシュメモリー	1次:32KB / 2次:256KB内蔵
チップセット	インテル社製 440MX-100
システムバス(メモリーバス)	100MHz
メインメモリー(SDRAM)	標準128MB(固定)
ビデオメモリー	4MB(SDRAM / 表示コントローラーに内蔵)
表示パネル	12.1型、XGA対応、低反射ブラックTFT液晶
表示コントローラー	ATI社製 RAGE™ Mobility-M
LCD表示	1,024 × 768ドット(最大1,677万色) <sup>2</sup> 800 × 600ドット(最大1,677万色) <sup>2</sup> 640 × 480ドット(最大1,677万色) <sup>2</sup>
CRT表示	CRTのみ:PC-MT1-P1/最大1,280 × 1,024ドット(最大65,536色) PC-MT1-L1/最大1,600 × 1,200ドット(最大65,536色) LCDとの同時表示:最大1,024 × 768ドット <sup>3</sup> (最大1,677万色)
キーボード	OADG仕様準拠 85キー
ポインティングデバイス	パッド型ポインティングデバイス(ホイール機能対応)
HDD	20GB × 1基内蔵、エンハンスドIDE接続
FDD	別売(3モード対応 3.5型、外付)
CD-ROM	別売(読み出し最大20倍速、外付)
サウンド機能	サウンドシステム内蔵 AC'97準拠)、スピーカー(モノラル)、マイクロホン(モノラル)内蔵
標準インタフェース	CRT:アナログRGB <sup>4</sup> × 1(専用コネクター)、マイクロホン入力 × 1(モノラル)、 ヘッドホン出力 × 1(ステレオ)、USB × 2
モデム(日本国内仕様) <sup>5</sup>	最大通信速度:データ56,000bps(受信)、33,600bps(送信)/FAX 14,400bps、V.90規格準拠
LAN <sup>6</sup>	100BASE-TX、10BASE-T(RJ45コネクター)
PCカードスロット	Type <sup>7</sup> × 1スロット(PCMCIA2.1 / JEIDA4.2仕様準拠、CardBus対応)
CFカードスロット	CF Type <sup>7</sup> × 1
電源	専用ACアダプター、専用リチウムイオンバッテリー(標準内蔵)
消費電力	最大40W(エネルギー消費効率 <sup>7</sup> :S区分 0.0011)
バッテリー駆動時間 <sup>8</sup>	標準:約3.3時間 <sup>9</sup> 、最大:約10時間 <sup>9</sup> (別売大容量バッテリー CE-BL18 装着時)
外形寸法(突起部除く)・質量	幅282 × 奥行232 × 高さ16.6(最小)~ 19.6(最大)mm・約1.31kg

機種	PC-MT1-P1	PC-MT1-L1
OS	Microsoft® Windows 2000 Professional	Microsoft® Windows® 98 Second Edition
付属アプリケーション	Microsoft® Internet Explorer 5.0	Microsoft® Internet Explorer 5.5
	Adobe Acrobat Reader V4.05(PDF閲覧ソフト)	
主な付属品	ACアダプター/ACケーブル/リカバリCD <sup>10</sup> /モデムケーブル等	

<sup>1</sup> 初期状態でバッテリー駆動時のCPUクロック周波数は300MHzになります。 <sup>2</sup> デザイン機能により実現。 <sup>3</sup> LCDと外部CRTで同時表示する場合、CRT表示は解像度に関係なく1,024 × 768ドットの信号が出力されます。(LCD表示が1,024 × 768ドット表示より小さい場合は、CRTの表示領域部は画面中央に小さくなります。)同時表示を行う場合、CRTは1,024 × 768ドット以上が表示できるものをご利用ください。 <sup>4</sup> 別売のディスプレイ変換ケーブルCE-RG02が必要です。 <sup>5</sup> 内蔵モデムは、各OS対応のアプリケーションソフト用です。通信接続先によっては規格が異なる場合がありますので、通信接続先(パソコン通信サービス会社、プロバイダー等)にご確認ください。56kbpsはデータ受信時の理論上の最高速度です。データ送信時は最大33.6kbpsになります。また市販のFAXソフトにより、FAXの送受信(最大通信速度14,400bps)を実現する機能を備えています。 <sup>6</sup> LANインタフェースを使用する場合は、システムの設定が必要になります。 <sup>7</sup> 「エネルギー消費効率」とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。 <sup>8</sup> バッテリーの駆動時間は、デバイスの設定やご利用の条件等により変動します。 <sup>9</sup> 省電力モード(CPUクロック周波数300MHz)時の計測数値です。 <sup>10</sup> CD-ROMを使用する場合、別売のCD-ROMドライブユニットが必要になります。